



# サクラさくら ふるさとの桜



## 妙了寺の桜（上市之瀬）

例年数多くの花見客が訪れる妙了寺。  
別名「裏身延」とも呼ばれる歴史ある名刹。



## 三宮神社の桜（飯野）

アジア太平洋戦争末期に構築されたロタコ（ろたこ 御勅使河原飛行場）の滑走路南端にある桜。ここが滑走路の造成工事に従事した地域住民の集合場所のひとつもなっていた。



## 市指定 上市之瀬のイトザクラ

県道県民の森公園線を上り、上市之瀬の集落を見下ろす瀬戸八幡神社のかたわらにある。高い所にあるので、花の咲くころは遠くからでも見つけることができる。



## 市指定 能蔵池のエドヒガン

神秘的な伝説に満ちた野牛島の能蔵池のほとりにある。池周辺は近年地域の人々によって整備され、安心して散歩することができる。また、近くには「ふるさと文化伝承館」があり、市内の歴史を知るとともに、さまざまな体験学習が行える。  
（問い合わせ：ふるさと文化伝承館 282-7408）



## 熊野神社の桜（秋山）

悲運の甲斐源氏、秋山光朝の館跡と伝えられる熊野神社（秋山）の桜も見事。境内からは春霞の甲府盆地を一望することができる。

## 市指定 曲輪田諏訪神社のエドヒガン

境内南西の池のほとりにある。風雪に耐え損傷をうけているが、現在も毎年花を咲かせている。花の時期は、地域の人々の農作業の目安としても親しまれているという。

春、日本人の心をとらえてやまない桜の花。南アルプス市内にも数多くの桜の木があって、春の訪れに彩（いろどり）をそえています。

その中で今回はまず、市の天然記念物に指定された名木3件を紹介したいと思います。「曲輪田諏訪神社のエドヒガン」、「能蔵池のエドヒガン」、「上市之瀬のイトザクラ」です。

桜といえばまず、真っ先に思い浮かぶのは、「ソメイヨシノ」ですが、指定されているのはいずれも「エドヒガン」と呼ばれる品種と、その変種である「イトザクラ」です。

「ソメイヨシノ」は、「エドヒガン」と「オシマザクラ」を交配したものとされており、「エドヒガン」が古い品種であることがわかります。

県内では「山高の神代桜（北杜市）」や「わに塚の桜（韮崎市）」などの桜が有名ですが、これらもみな「エドヒガン」です。

この品種はまた寿命が長いことでも知られており、全国には、ほかにも数多くの名木、古木があります。また、イトザクラは、エドヒガンの枝が垂れ下がった変種で、別名シダレザクラとも呼ばれます。

このほか、南アルプスの史跡や文化財の周辺にも多くの桜が植えられており、この季節には南アルプス市の豊かな歴史とともに楽しむことができます。

風光る四月。みなさんも南アルプス市の歴史と春を探しに出かけてみてはいかがでしょうか。文 文化財課